

令和8年度 就職先アンケート実施結果

教学部・キャリアサポートセンター

1. 目的

今後の教育内容や方法、在学生の就職指導、および卒業生へのキャリア教育の充実を図る。

2. 調査方法

郵送による依頼文書送付と Google フォームによるオンライン調査

3. 調査対象

149 件（官公庁 13 件、企業 50 件、教育機関 6 件、病院 61 件、保育園等・福祉施設 19 件）

4. 回答期間

令和8年8月18日（火）～令和8年9月11日（金）

5. 回答状況

92 件/149 件＝61.7%

以下の回答の前に、本学の卒業生（個人を特定しない）について、学科（
）内主な資格等）をイメージしてお答えください...い。複数学科回答する場合は別途ご回答ください。
92 件の回答



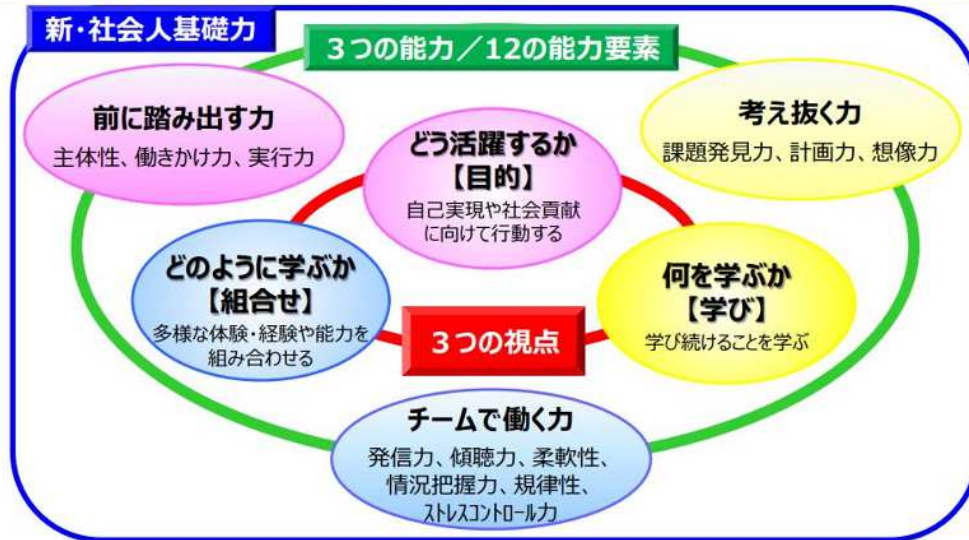
学 科	情報	福祉	栄養	薬	看護	理学	子ども	生物	合計
回答数	14	15	6	10	18	13	10	6	92
占有率	15.2	16.3	6.5	10.9	19.6	14.1	10.9	6.5	100

※複数卒業生の入職・入社先が対象のため、同一企業の複数回答もあり

経済産業省のホームページ(<https://www.meti.go.jp/policy/kisoryoku/index.html>)に記載された資料を基に、本学学生がそれぞれの能力や視点を有しているか、回答をいただいた。

「人生100年時代の社会人基礎力」の見直しのイメージ

「新・社会人基礎力」は、これまで以上に長くなる個人の企業・組織・社会との関わりの中で、ライフステージの各段階で活躍し続けるために求められる力と定義され、社会人基礎力の3つの能力／12の能力要素を内容としつつ、能力を発揮するにあたって、目的、学び、組合せのバランスを図ることが、自らキャリアを切りひらいていく上で必要と位置付けられる。



「人生100年時代の社会人基礎力」とは

「人生100年時代の社会人基礎力」は、これまで以上に長くなる個人の企業・組織・社会との関わりの中で、ライフステージの各段階で活躍し続けるために求められる力と定義され、社会人基礎力の3つの能力／12の能力要素を内容としつつ、能力を発揮するにあたって、自己を認識してリフレクション（振り返り）しながら、目的、学び、統合のバランスを図ることが、自らキャリアを切りひらいていく上で必要と位置付けられる。

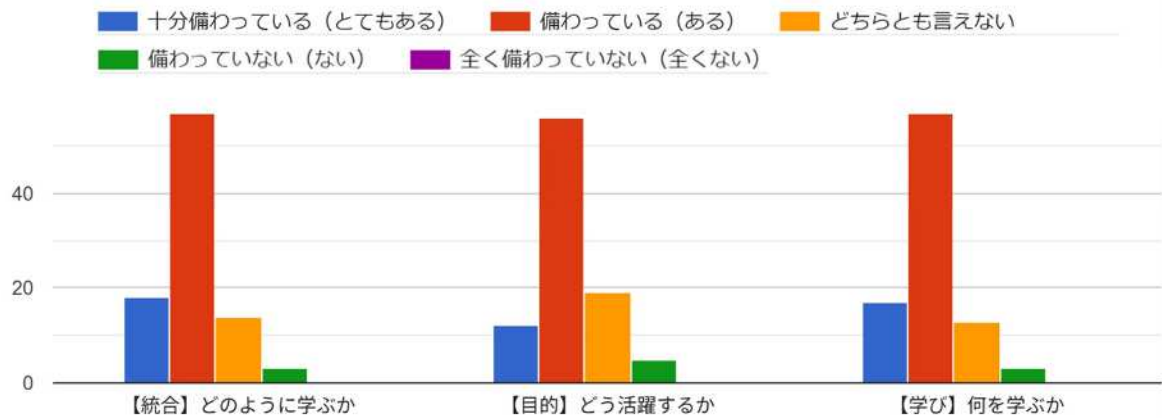


経済産業省 社会人基礎力ホームページより抜粋

回答結果

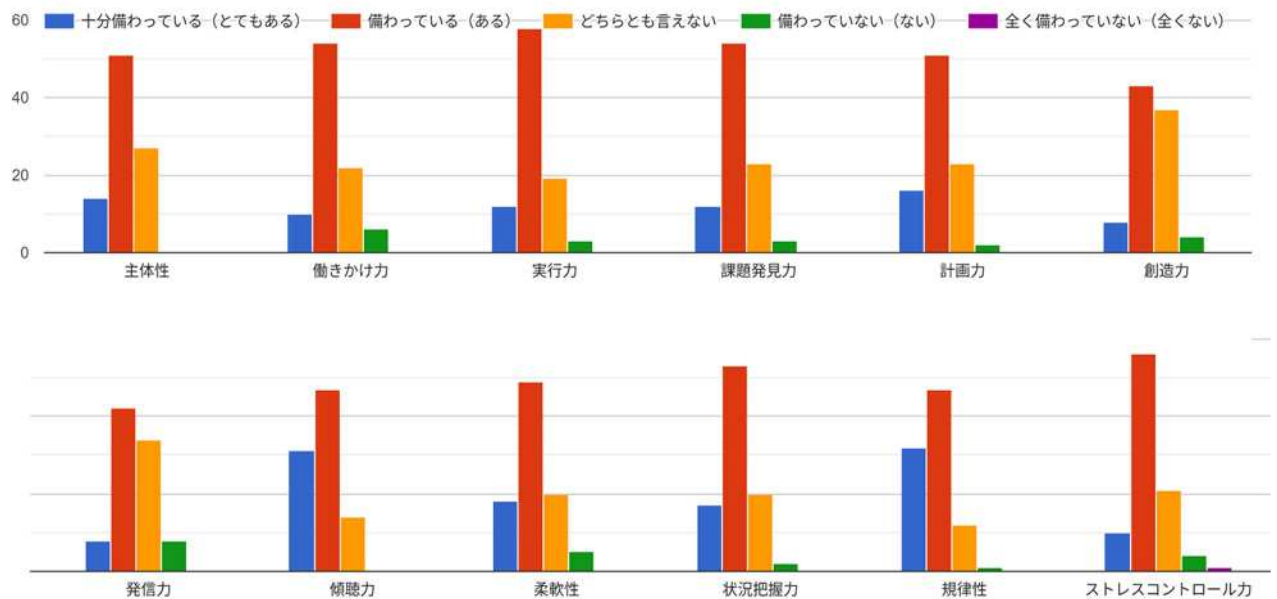
◆3つの視点

3つの視点（回答92件）



◆12の能力要素

12の力（回答92件）



「どちらとも言えない」「備わっていない(ない)」「全く備わっていない(全くない)」との回答が多い能力要素は、「発信力」「創造力」であった。やや回答が多かったのは「働きかけ力」「主体性」「課題発見力」「ストレスコントロール力」であった。

なお、経済産業省による 12 の能力の説明は以下の通り。※経済産業省ホームページ（フリー素材）から抜粋

